

ヒト皮膚幹細胞順化培養液 ヒト皮膚常在菌発酵エキスタイプ

開発の経緯

当社は10年以上、ヒト細胞培養と発酵について研究し開発しています。ヒト皮膚の基底層には幹細胞が存在し、皮膚を保護しています。このヒト幹細胞をフローサイトメーターにより単離することに成功しました。無血清培養を行うために培地を選択しましたが、化学的な合成培地では安全性と品質に問題がありました。また、抗生物質を添加せず、無血清で培養するためには、特殊な培地が必要でした。そこで、ヒト皮膚常在菌を利用した独自の発酵培地を開発しました。この新しい培養方法の長所として有用成分が遊離していて働きやすく、低分子になっているため、浸透性が高いということです。また、安全性も高くなりました。このように新しいヒト皮膚幹細胞順化培養液には著しい科学的効果が認められました。

化粧品用 有効濃度5%

表示名称 ヒト幹細胞順化培養液、スタフィロコッカスエピデルミジス／豆乳発酵液(配合比率 95:5)

INCI Human Stem Cell Conditioned Media、Staphylococcus Epidermidis/Soy milk Ferment Filtrate

原材料：ヒト皮膚幹細胞(日本産)、ヒト皮膚常在菌(日本産)、豆乳(日本産)

保管方法：冷暗所に保管する。

注意事項 開封後は落下菌の混入を避け、冷暗所に密閉して保管し、お早めにご使用ください。

未開封時賞味期限：2年間

その他：防腐剤、添加物、BGなどの有機溶媒は使用していません。

日本製造

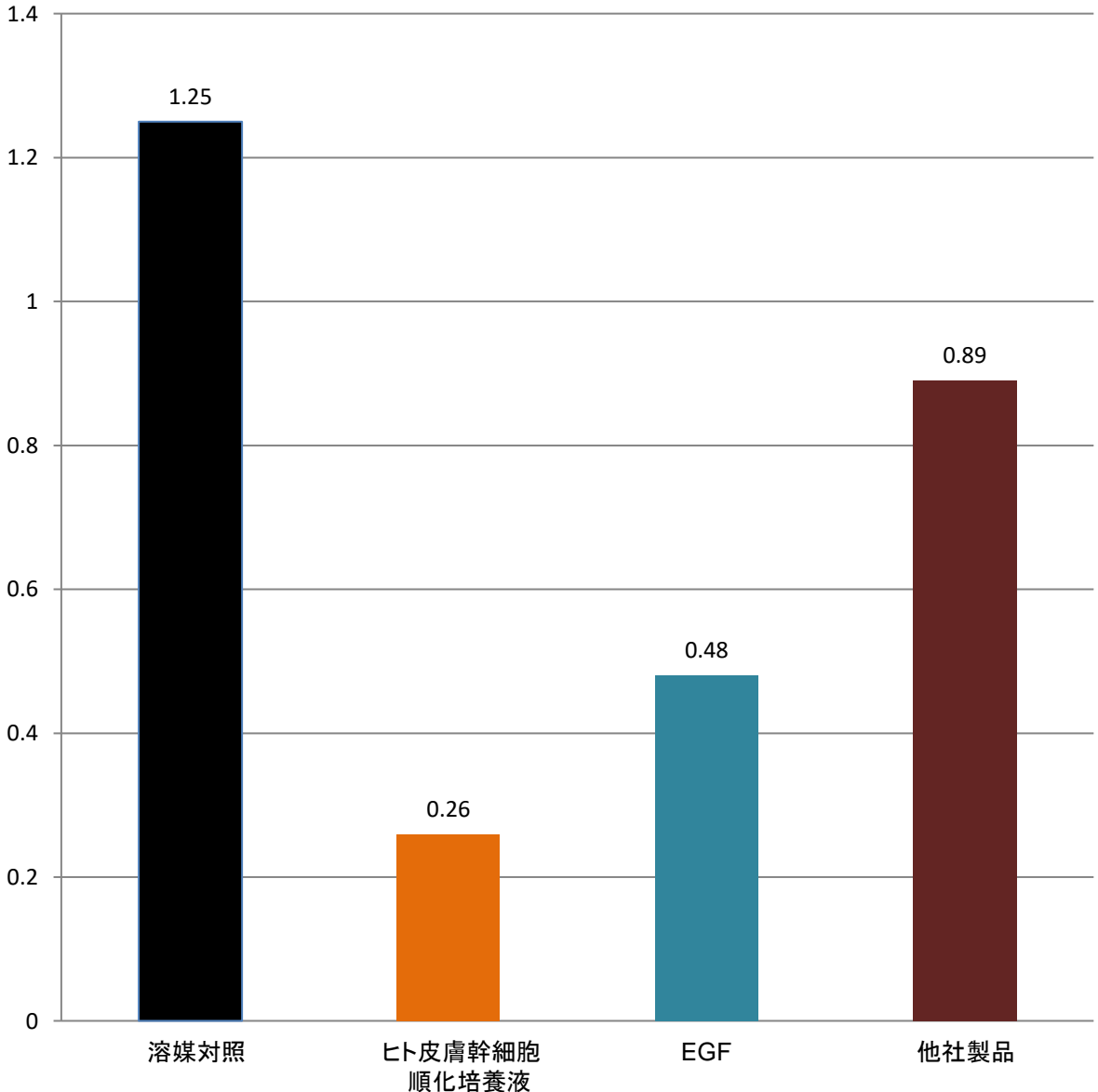
特許第7015775号利用

ヒト皮膚幹細胞順化培養液 ヒト皮膚常在菌発酵エキスタイプ

ヒト皮膚表皮細胞に対する働き — 肌荒れ対策作用 —

ヒト皮膚表皮細胞

肌荒れ指数 (Units / 1000 cells)



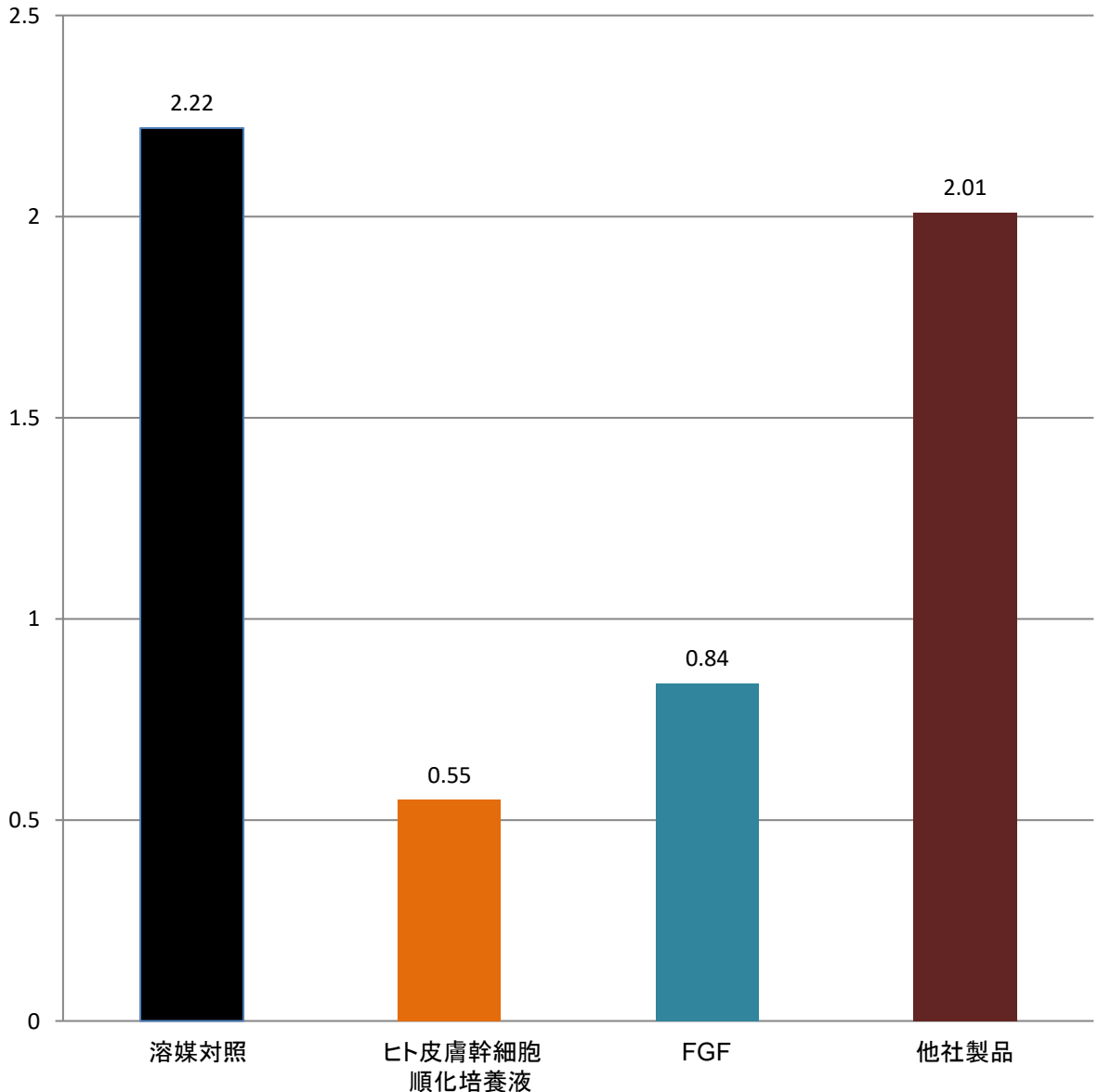
ヒト皮膚幹細胞順化培養液 ヒト皮膚常在菌発酵エキスタイプは紫外線照射により障害を与えたヒト皮膚表皮細胞に対して肌荒れ指数を減少させました。肌荒れ対策作用が期待されます。

ヒト皮膚幹細胞順化培養液 ヒト皮膚常在菌発酵エキスタイプ

ヒト皮膚線維芽細胞に対する働き — 肌しわ対策作用 —

ヒト皮膚線維芽細胞

肌しわ指数 (Units / 1000 cells)

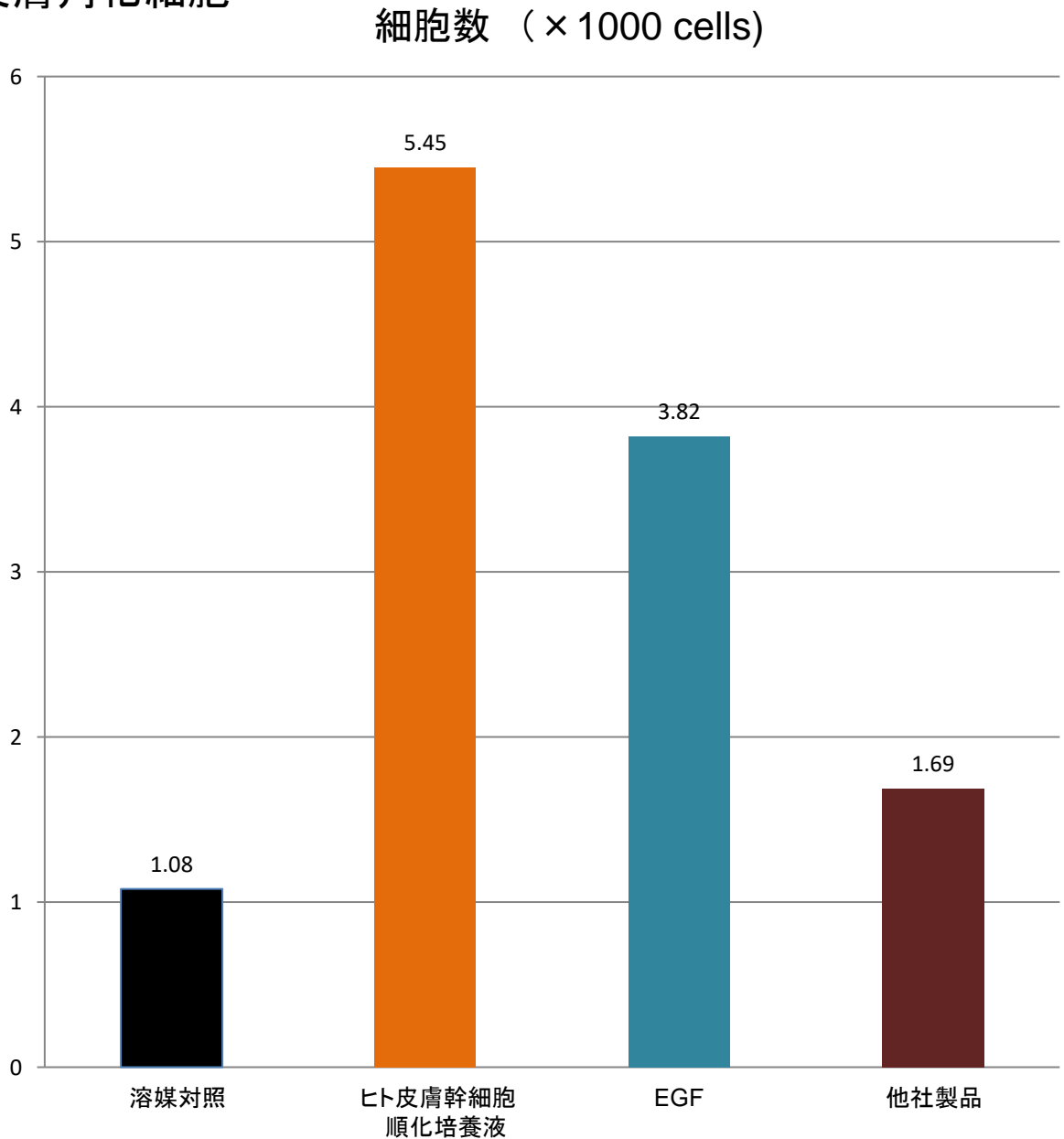


ヒト皮膚幹細胞順化培養液 ヒト皮膚常在菌発酵エキスタイプは紫外線照射により障害を与えたヒト皮膚線維芽細胞に対して肌しわ指数を減少させました。肌しわ対策作用が期待されます。

ヒト皮膚幹細胞順化培養液 ヒト皮膚常在菌発酵エキスタイプ

ヒト皮膚角化細胞に対する働き — 増殖作用 —

ヒト皮膚角化細胞

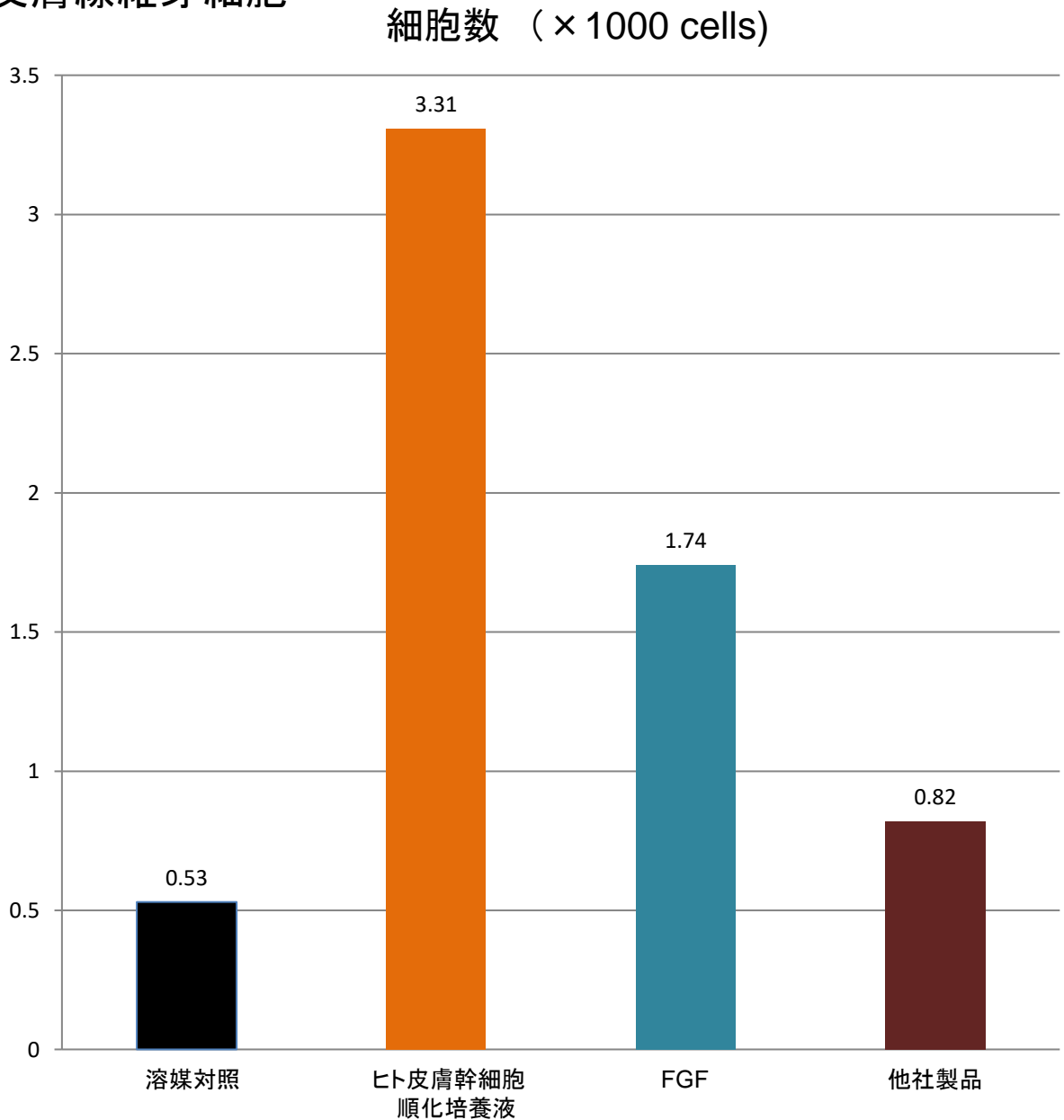


ヒト皮膚幹細胞順化培養液 ヒト皮膚常在菌発酵エキスタイプは紫外線照射により障害を与えたヒト皮膚角化細胞を増殖させました。

ヒト皮膚幹細胞順化培養液 ヒト皮膚常在菌発酵エキスタイプ

ヒト皮膚線維芽細胞に対する働き — 増殖作用 —

ヒト皮膚線維芽細胞



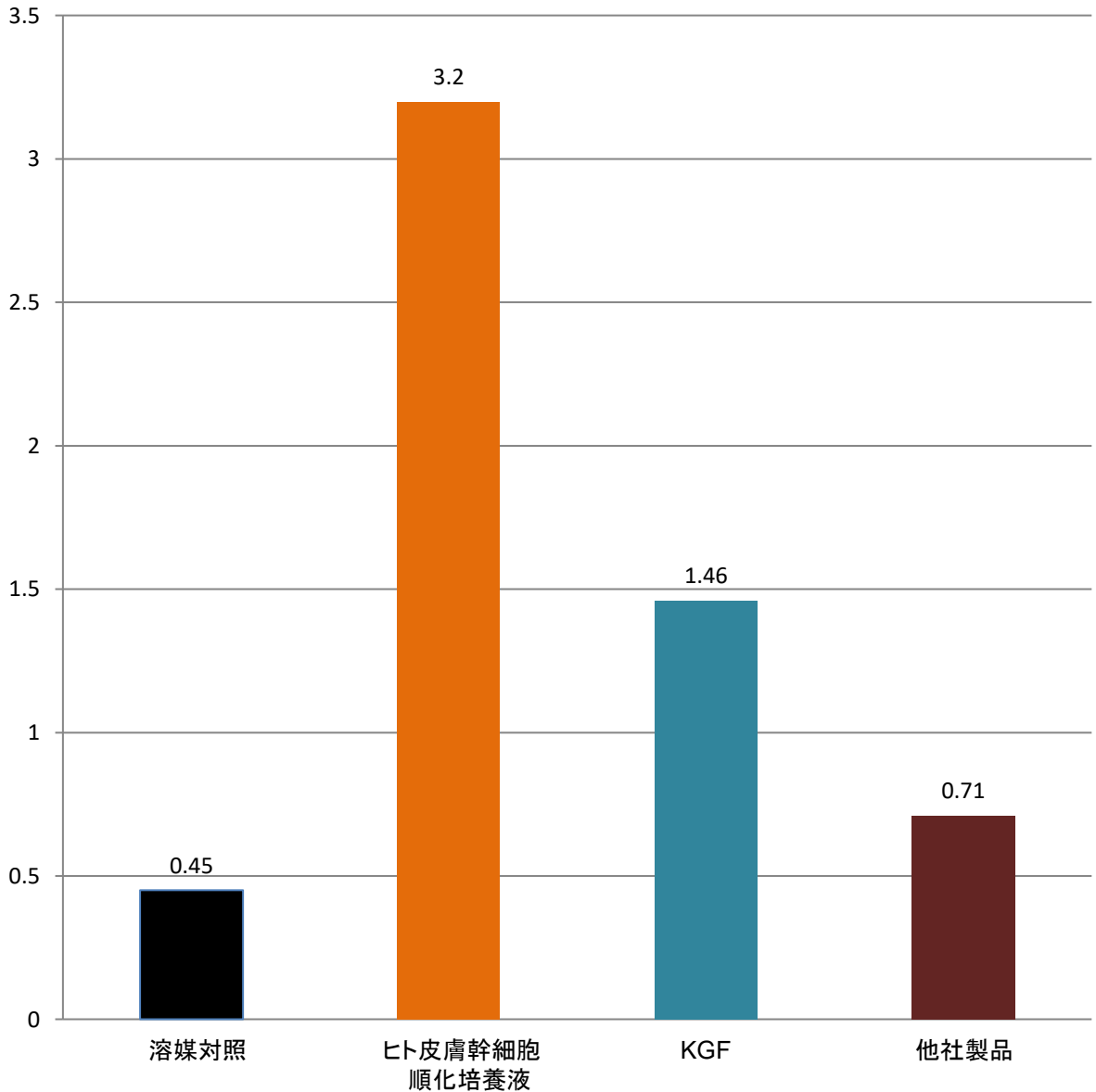
ヒト皮膚幹細胞順化培養液 ヒト皮膚常在菌発酵エキスタイプは紫外線照射により障害を与えたヒト皮膚線維芽細胞を増殖させました。

ヒト皮膚幹細胞順化培養液 ヒト皮膚常在菌発酵エキスタイプ

ヒト頭髪毛根細胞に対する働き — 増殖作用 —

ヒト頭髪毛根細胞

細胞数 (× 1000 cells)



ヒト皮膚幹細胞順化培養液 ヒト皮膚常在菌発酵エキスタイプは紫外線照射により障害を与えたヒト頭髪毛根細胞を増殖させました。

製品規格書

製品名 : ヒト皮膚幹細胞順化培養液 ヒト皮膚常在菌発酵エキスタイプ

検査項目 :

1. 外観

検査項目	規格	測定方法
色	無色透明～薄黄色	目視
状態	液体	目視

2. 重金属・微生物

検査項目	規格	測定方法
砒素	2ppm 以下	モリブデンブルー法
重金属	20ppm 以下	硫化ナトリウム法
一般細菌数 (生菌数)	100 以下/g	ペトリフィルム法
真菌数	陰性 0 /g	ペトリフィルム法
大腸菌群数	陰性 0 /100g	ペトリフィルム法

3. ウイルス検査

検査項目	規格	測定方法
HIV、B 型肝炎ウイルス、 C 型肝炎ウイルス、ヘル ペスウイルス	陰性	ELISA 法

化粧品用 有効濃度 5%

表示名称 ヒト幹細胞順化培養液、スタフィロコッカスエピデルミジス/豆乳発酵液 (配合比率 95:5)

INCI Human Stem Cell Conditioned Media、Staphylococcus Epidermidis/Soy milk Ferment Filtrate

原材料 : ヒト皮膚幹細胞 (日本産)、ヒト皮膚常在菌 (日本産)、豆乳 (日本産)

保管方法 : 冷暗所に保管する。

注意事項 開封後は落下菌の混入を避け、冷暗所に密閉して保管し、お早めにご使用ください。

未開封時賞味期限 : 2年間

その他 : 防腐剤、添加物、BGなどの有機溶媒は使用していません。

日本製造

以上

提供元 : 株式会社安理ジャパン

安全データシート (SDS)

< 1. 製造者情報 >

製品名 : ヒト皮膚幹細胞順化培養液 ヒト皮膚常在菌発酵エキスタイプ
提供元 : 株式会社安理ジャパン

< 2. 物質の特定 >

単一製品・混合物の区別 : ヒト細胞順化培養液 液体
化学名 (一般名) : 特定できない
CAS RN : 特定できない
化審法番号 : なし
安衛法番号 : なし
国連番号 (番号 クラス) : 該当せず
EINECS : なし
TSCA : なし

< 3. 危険有害性の分類 >

分類の名称 : 分類基準に該当しない
危険性 : 可能性がある。 熱、火花及び火災で着火することがある。
有害性 : 眼、呼吸器及び皮膚を刺激するおそれがある。
環境影響 : 記載すべき情報はない。

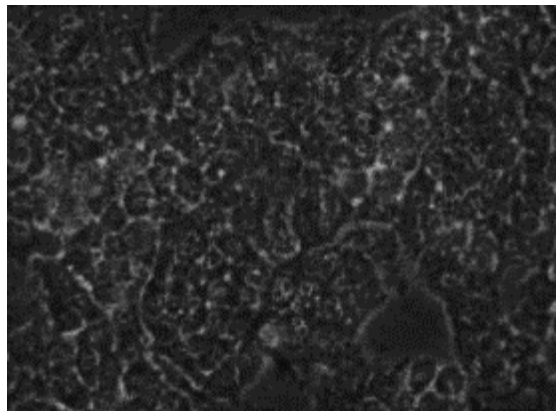
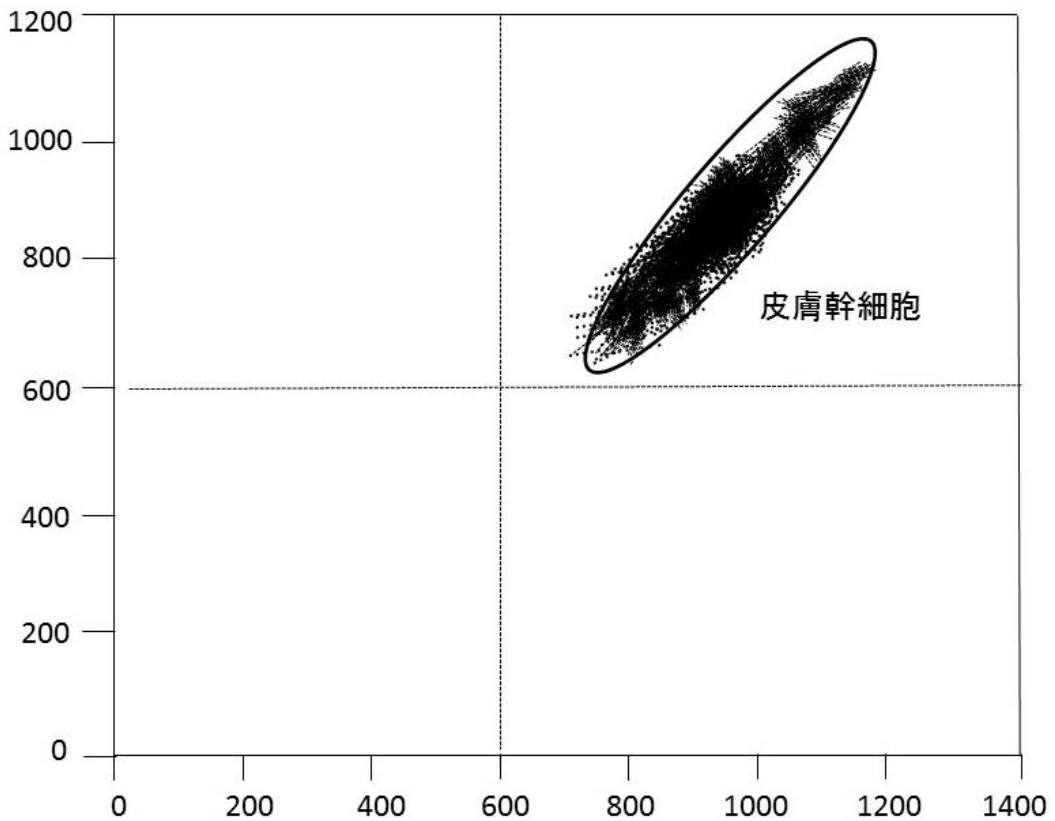
< 4. 応急措置 >

目に入った場合 : 直ちにまぶたを開いて、流水で15分間以上洗浄する。症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。
皮膚に付着した場合 : 症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。
吸入した場合 : 症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。
飲み込んだ場合 : 多量に飲み込んだ場合、下痢を起こす場合がある。症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。

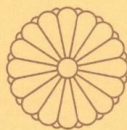
ヒト皮膚幹細胞順化培養液

ヒト皮膚由来の幹細胞を以下のように同定しました。
CD90 及び CD29 の抗体に反応する細胞をフローサイトメーターにより集めました。その解析結果が以下の図になります。
CD90 及び CD29 の抗体に反応する細胞のみが集められていることが判明しました。これをヒト皮膚幹細胞として培養しました。

ヒト皮膚由来幹細胞の分布 フローサイト解析 CD90 vs CD29



培養中の
ヒト皮膚幹細胞



特許証
(CERTIFICATE OF PATENT)

特許第7015775号
(PATENT NUMBER)

発明の名称
(TITLE OF THE INVENTION)

遺伝子修復作用を呈するポリフェノール誘導体

特許権者
(PATENTEE)

愛知県一宮市八幡四丁目1-67-606

二村 芳弘

発明者
(INVENTOR)

二村 芳弘

出願番号
(APPLICATION NUMBER)

特願2018-221898

出願日
(FILING DATE)

平成30年11月28日(November 28, 2018)

登録日
(REGISTRATION DATE)

令和4年1月26日(January 26, 2022)

この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

令和4年1月26日(January 26, 2022)

特許庁長官
(COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

森

